

2025 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社テノ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 池内 比呂子
(コード番号:7037 東証スタンダード市場・福証)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 岡 田 基 司
(TEL. 092-263-3550)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 15 日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状の分析・評価を行い、今後の取組みについて策定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参考ください。

以 上



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2025年5月15日

株式会社テノ. ホールディングス

(証券コード：7037)

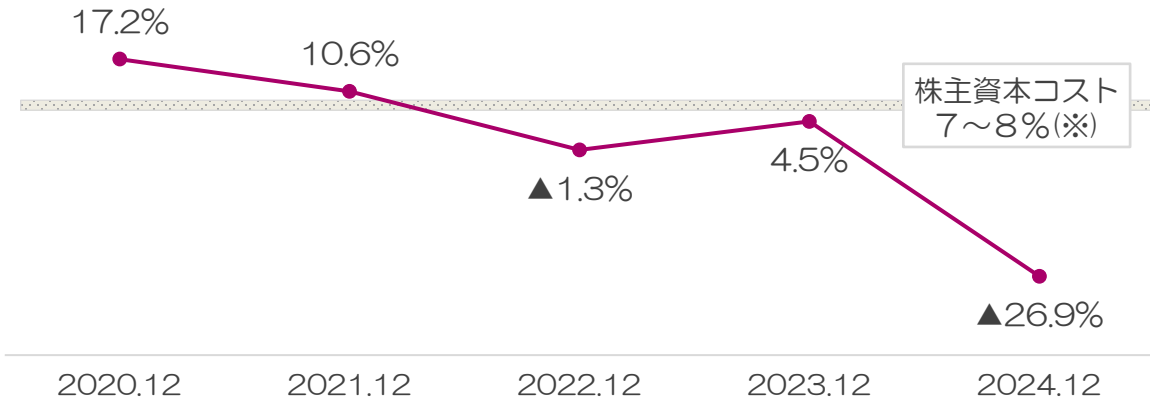
teno.
HOLDINGS

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

【現状分析・評価（資本収益性、市場評価）】

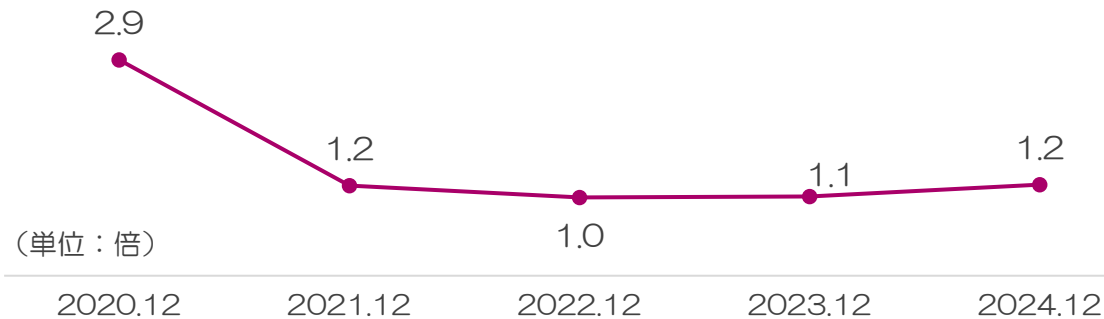
- ・2022年以降、ROEが当社想定した資本コストを下回って推移
- ・PBRは1倍程度で推移しており、2020年と比較すると低位となっている
- ＞収益改善は大前提とし、フリーキャッシュフローの増加や資本構成の適正化にも注力することで、より一層の成長性を示していくことが必要と認識

＜株主資本コストとROE＞



(※)CAPMに基づき当社推計（株主資本コスト＝リスクフリーレート＋市場リスクプレミアム×ベータ(β)）

＜PBR＞

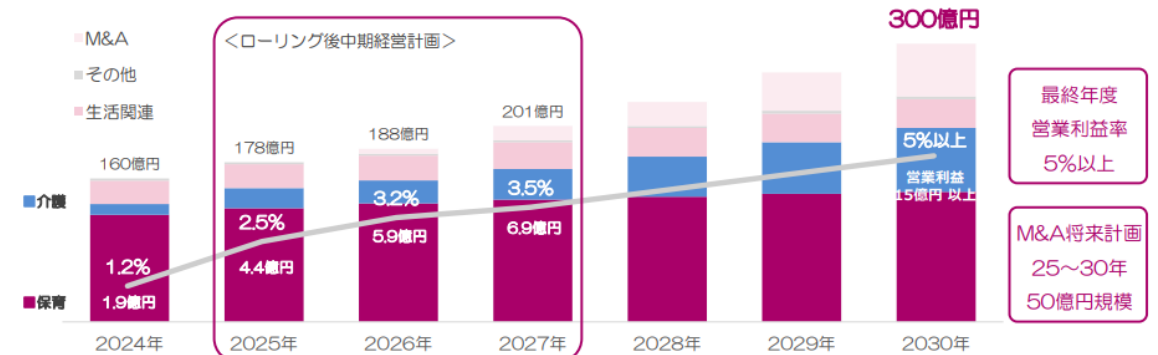


(単位：倍)

【企業価値向上のための今後の取組み】

- ・長期ビジョン「tenoVISION2030」の実現
長期的な成長期待の醸成
- ・収益性の向上（ROEの向上）
保育事業の強化、介護事業の強化、M&Aによる事業拡大

- ・長期ビジョン「tenoVISION2030」の実現により、
期待成長率の向上と株主資本コストの減少へ



- ・収益性の向上（ROEの向上）
保育事業も拡大させつつ、更なるCFの創出に向け注力
＞主力である保育事業で獲得したCFを介護事業やM&Aへ資金投下

- ・IR活動の強化
企業価値向上のための取組みの認知拡大のため注力
＞投資家向け決算説明会、会社説明会の開催・参加頻度を増やす
＞情報開示の充実
＞投資家との積極的な対話の実施、フィードバックの活用